

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第5週の発生動向

**重症熱性血小板減少症候群(SFTS) (全数把握対象)**  
 の報告が宮崎市保健所から1例あった。患者は40歳代で、県内での報告は9例目となった。発症は1月中旬で、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もなかった。

**麻疹(全数把握対象)**の報告が延岡保健所管内から2例あった。患者は小学生(修飾麻疹)と10歳代(麻疹)であった。2014年県内での報告は3例となった。

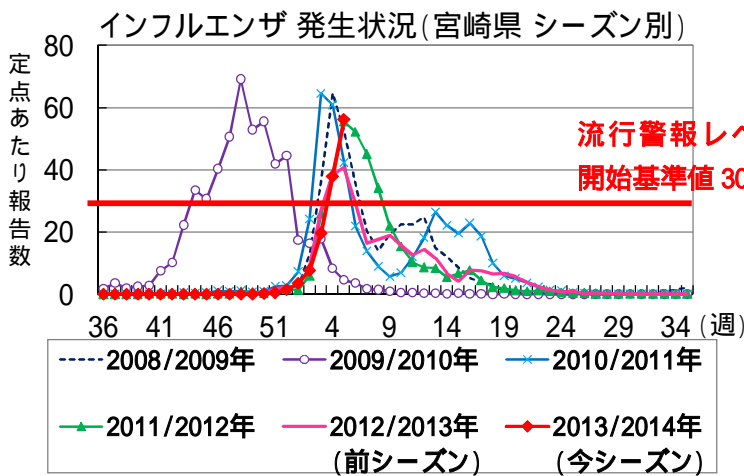
定点医療機関からの報告総数は4,248人(定点あたり88.8)で、前週比129%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

### インフルエンザ・小児科定点からの報告

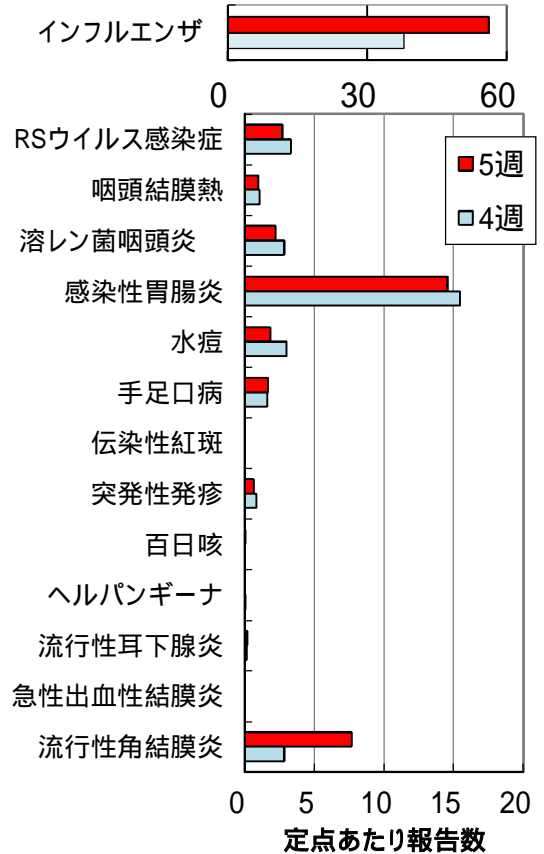
#### 【インフルエンザ】

・報告数は3,309人(56.1)で前週比148%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(36.6)の約1.5倍である。延岡(118.9)、宮崎市(64.1)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の36%、6~9歳が29%、10~14歳が19%、15~19歳が2%、20歳代~50歳代が12%、60歳以上が2%を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

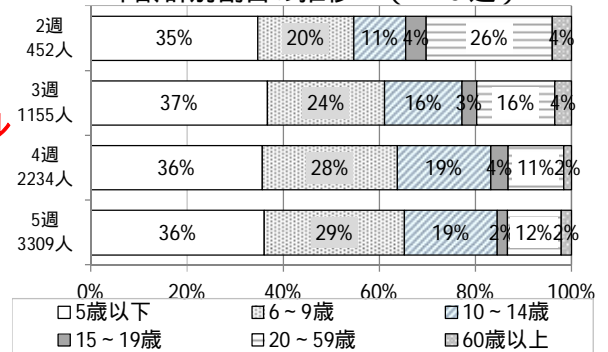


## (前週との比較)

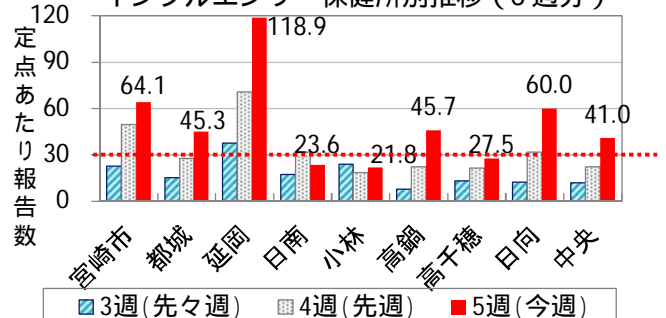


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 年齢群別割合の推移 (2~5週)

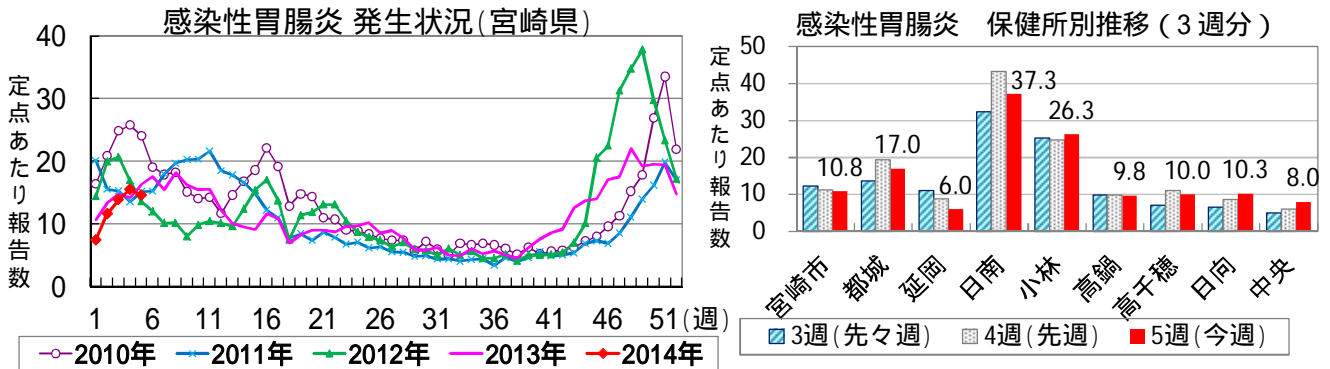


## インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



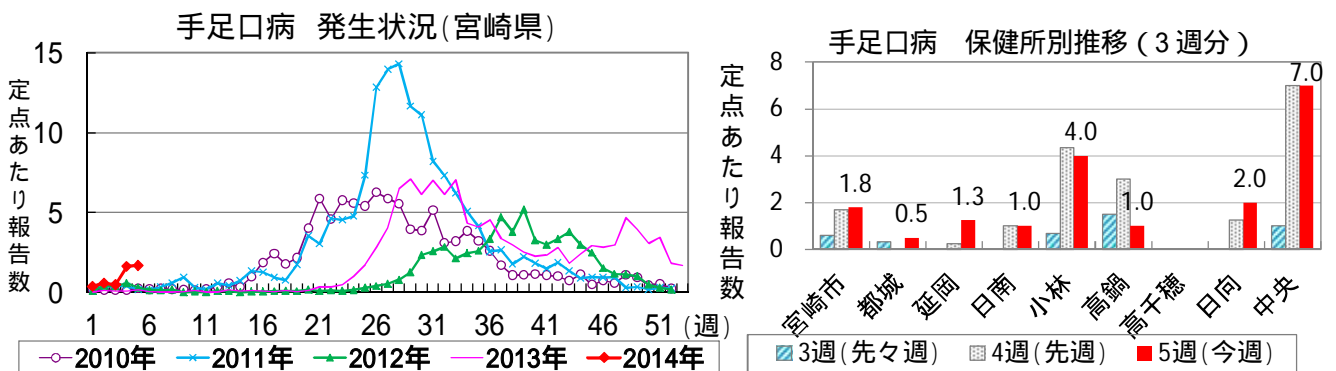
【感染性胃腸炎】

・報告数は523人(14.5)で前週比94%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(16.0)の約9割である。日南(37.3)、小林(26.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約4割を占めた。



【手足口病】

・報告数は60人(1.7)で前週比103%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.2)よりかなり多い。中央(7.0)、小林(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約9割を占めた。



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎:都城保健所管内から1人報告された。患者は1歳で、Respiratory syncytial virusが検出された。

感染性胃腸炎(ロタウイルス):都城保健所管内から1人報告された。患者は月齢3ヶ月、群別不明。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(64.1)、流行性角結膜炎(15.3)
都城	インフルエンザ(45.3)
延岡	インフルエンザ(118.9)
日南	感染性胃腸炎(37.3)
小林	感染性胃腸炎(26.3)
高鍋	インフルエンザ(45.7)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(60.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
中央	インフルエンザ(41.0)、手足口病(7.0)

- \* 流行警報レベル開始基準値\*
- ・インフルエンザ(30.0)
  - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
  - ・感染性胃腸炎(20.0)
  - ・手足口病(5.0)
  - ・流行性角結膜炎(8.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。  
 2 類感染症： 結核 4 例。  
 3 類感染症： 報告なし。  
 4 類感染症： 重症熱性血小板減少症候群 1 例、つつが虫病 1 例。  
 5 類感染症： ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、梅毒 2 例、破傷風 1 例、麻しん 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	20 歳代	肺結核	咳
		延岡	60 歳代	無症状病原体保有者	-
			80 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	胸痛、呼吸困難
			80 歳代	疑似症患者	結核性胸膜炎疑い
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	40 歳代	患者	発熱、頭痛、腹痛、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少、紫斑、咳
	つつが虫病	小林	60 歳代	患者	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20 歳代	B 型	全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、発熱、肝機能異常、黄疸
	急性脳炎	宮崎市	1 歳	インフルエンザウイルスA	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害
	梅毒	宮崎市	40 歳代	早期顕症梅毒( 期)	鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)、梅毒性バラ疹
			50 歳代	早期顕症梅毒( 期)	手掌足底角化
	破傷風	都城	50 歳代	患者	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、反弓緊張
	麻しん	延岡	小学生	修飾麻しん(検査診断例)	発熱、発疹 ワクチン接種歴：不明 海外渡航歴：有り
			10 歳代	麻しん(臨床診断例)	発熱、咳、鼻汁、結膜充血、コプリック斑、発疹 ワクチン接種歴：不明

## 全国第 4 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 43.5 で、前週比 157% と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、大きく減少した疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は 122,618 人(24.8)で、前週比 211% と増加した。沖縄県(54.1)、大分県(39.6)、宮崎県(37.9)からの報告が多く、10 県で流行警報レベル開始基準値(30.0)を超えている。年齢別では、5 歳以下が全体の 28%、6~9 歳が 26%、10~14 歳が 16%、15~19 歳が 4%、20 歳代~50 歳代が 22%、60 歳以上が 4% を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,898 人(2.2)で、前週比 130% と増加した。山形県(6.4)、新潟県(5.5)、鳥取県(4.3)からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 38,064 人(12.1)で、前週比 117% と増加した。大分県(21.4)、鹿児島県(21.3)、富山県(20.2)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 4 割を占めた。

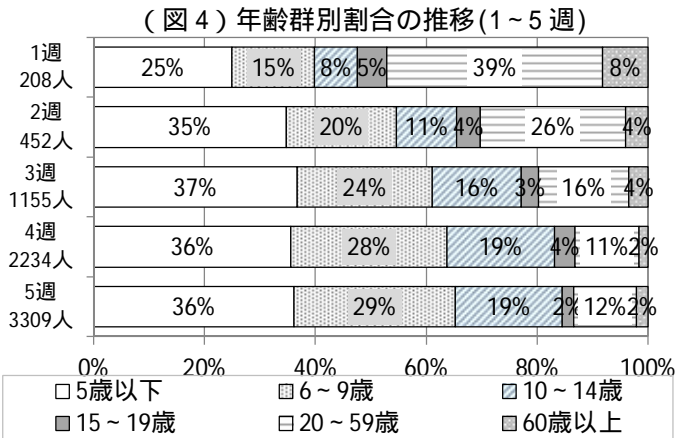
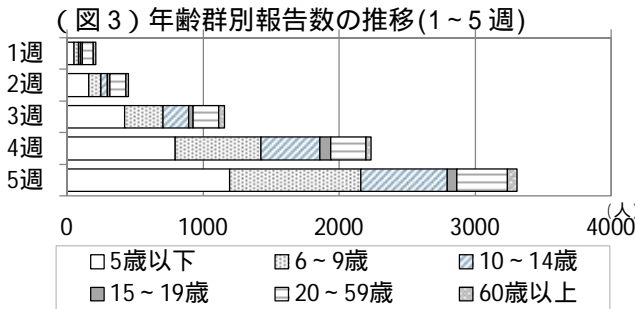
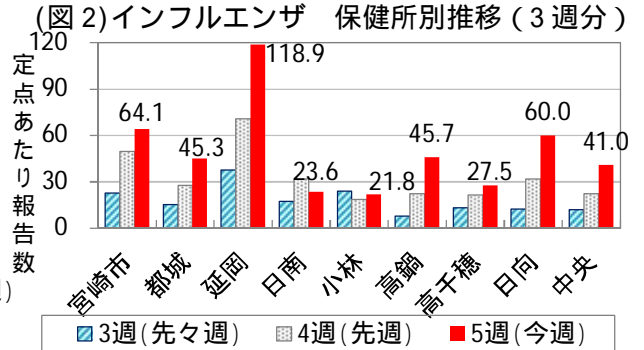
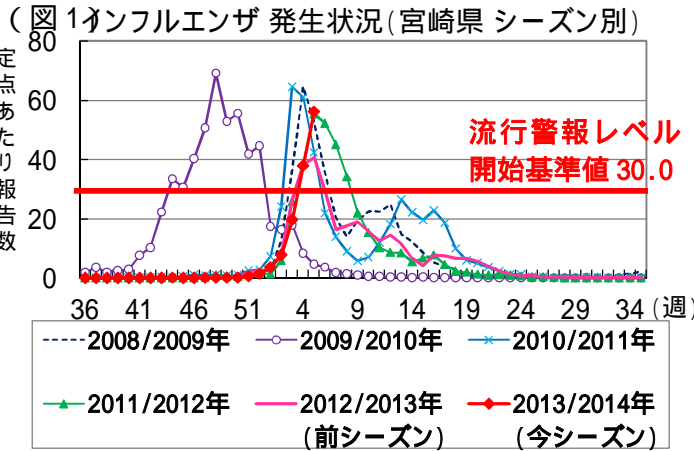
## 全数把握対象疾患(全国第 4 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	315 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	8 例	腸チフス	1 例
	バラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	2 例	デング熱	3 例
	レジオネラ症	16 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	3 例	急性脳炎	10 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	16 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例	梅毒	13 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	9 例	麻しん	18 例		

# インフルエンザ情報《県内第5週、全国第4週（再掲）》

## 県内第5週インフルエンザ発生動向

平成26年1月27日～2月2日までの1週間で3,309人（定点あたり56.1）の報告があり、前週の約1.5倍に増加した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（36.6）の約1.5倍である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の推移を（図3）、年齢群別報告数の割合の推移を（図4）に示す。



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

保健所	今週 (5週)		1週前 (4週)		2週前 (3週)		3週前 (2週)		4週前 (1週)		5週前 (52週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	56.1		37.9		19.6		7.7	-	3.5	-	1.4	-
宮崎市	64.1		49.8		22.7		5.3	-	1.7	-	0.9	-
都城	45.3		27.8		15.1		9.5	-	7.7	-	2.4	-
延岡	118.9		70.9		37.4		10.9		3.3	-	0.3	-
日南	23.6		31.8		17.2		10.2		4.0	-	2.8	-
小林	21.8		18.4		24.2		16.8		9.2	-	5.2	-
高鍋	45.7		22.5		7.8	-	2.8	-	1.3	-	0.3	-
高千穂	27.5		21.5		13.0		3.0	-	2.0	-	0.0	-
日向	60.0		31.7		12.5		4.8	-	0.5	-	0.3	-
中央	41.0		22.5		12.0		4.5	-	0.0	-	0.5	-

宮崎県全体：警報レベル終息基準値（10）を下回るまで警報レベル継続

保健所別：当該週の定点あたり報告数のみにより注意報・警報レベルを表示

## 全国第4週インフルエンザ発生動向

平成26年1月20日～1月26日までの1週間で122,618人（24.8）の報告があり前週比211%と増加した。沖縄県（54.1）、大分県（39.6）、宮崎県（37.9）からの報告が多く、10県で流行警報レベル開始基準値（30.0）を超えている。年齢別では、5歳以下が全体の28%、6～9歳が26%、10～14歳が16%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が22%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第05週(01月27日～02月02日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2234	3309	1026	453	832	118	109	274	55	360	82
	定点あたり	37.86	56.08	64.13	45.30	118.86	23.60	21.80	45.67	27.50	60.00	41.00
RSウイルス 感染症	報告数	119	97	24	12	19	11	13	12		5	1
	定点あたり	3.31	2.69	2.40	2.00	4.75	3.67	4.33	3.00	0.00	1.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	38	35	10	2	4	7	3	4	1	4	
	定点あたり	1.06	0.97	1.00	0.33	1.00	2.33	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	102	79	4	5	26	4	3	1	2	33	1
	定点あたり	2.83	2.19	0.40	0.83	6.50	1.33	1.00	0.25	2.00	8.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	556	523	108	102	24	112	79	39	10	41	8
	定点あたり	15.44	14.53	10.80	17.00	6.00	37.33	26.33	9.75	10.00	10.25	8.00
水痘	報告数	108	66	13	17	6	11	6	10		3	
	定点あたり	3.00	1.83	1.30	2.83	1.50	3.67	2.00	2.50	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	58	60	18	3	5	3	12	4		8	7
	定点あたり	1.61	1.67	1.80	0.50	1.25	1.00	4.00	1.00	0.00	2.00	7.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	23	9	1	4	2	4	2		1	
	定点あたり	0.83	0.64	0.90	0.17	1.00	0.67	1.33	0.50	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数		2		1	1						
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	6	1	1	1			1		2	
	定点あたり	0.14	0.17	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	46	46								
	定点あたり	2.83	7.67	15.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～5週)

2類感染症	結核	14例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	つつが虫病	3例(1)	
	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例(1)	急性脳炎 3例(1)
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒	2例(2)	破傷風 1例(1)
	麻しん	3例(2)			

( )内は今週届出分、再掲